

## 2019年度教育研究活動報告用紙(様式9)

|          |        |                        |
|----------|--------|------------------------|
| 氏名 田路 千尋 | 職名 准教授 | 学位 博士(学術)(奈良女子大学2014年) |
|----------|--------|------------------------|

| 研究分野       | 研究内容のキーワード |
|------------|------------|
| 栄養教育、公衆栄養学 | 食育、食事調査    |

| 研究課題   |
|--|
| <p>これまでの研究においては、地域住民に対して開発した食事調査法を用いた栄養教育と運動教育を行い、減量を目的とした前向き介入研究を実施してきた。今後も食事調査法の近未来のあり方を検討し、栄養教育による効果的なエビデンスの蓄積に努めたい。また、小倉駅商店街で SAT システムを使用した食事診断および学童保育での食育を行うことで地域貢献活動とした取り組みをしていく予定である。</p> |

| 担当授業科目  |
|---|
| <p>管理栄養士演習Ⅱ・ブラッシュアップゼミ(栄養教育論・公衆栄養学)、栄養教育論実習Ⅰ、公衆栄養学実習、栄養教育論Ⅰ・Ⅱ、臨床栄養活動論、臨地実習Ⅱ、高齢者支援学Ⅰ・Ⅱ</p> |

| 授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)  |
|--|
| <p><b>授業科目名【 管理栄養士演習Ⅱ(栄養教育論・公衆栄養学)担当】</b></p> <p>「栄養教育論」と「公衆栄養学」の分野の講義を担当。国家試験対策の模擬試験受験後に配布される解答・解説書は、解説が簡素すぎるが多いため、「栄養教育論」と「公衆栄養学」分野に苦手意識をもつ学生がいる現勤務校では、十分な学習効果が得られないと考えられた。出題された問題の各選択肢について、解答のみにとどまらず、その範囲で系統化して習得しておくべき基礎知識を解説したプリントを作成し、毎回の講義を行っている。</p>  |
| <p><b>授業科目名【 栄養教育論実習Ⅰ 担当】</b></p> <p>3 年生配当科目「栄養教育論実習Ⅰ・Ⅱ」を担当。対象者の健康・食生活に関する情報収集、優先課題の特定、目標設定、学習計画の立案、実施、評価およびそのフィードバックまでの PDCA サイクルの作業を体験的に学び、活用できるスキルを習得することを目標に、個人・集団を対象とした栄養教育の実践を指導している。</p>   |
| <p><b>授業科目名【「栄養教育論Ⅰ」「栄養教育論Ⅱ」担当】</b></p> <p>管理栄養士国家試験の出題基準における「栄養教育論」分野は、出題範囲が広く、教科書の分量も多い。毎回の講義は、教科書に加えて、パワーポイントによるスライド(ムービー等も利用)とプリント資料(書き込み欄付)を作成・配布し、テキストとして利用した授業により、学生の理解度が深まる工夫を行っている。また、小テストを実施し、学生の理解度を把握しながら授業を進めている。1 年生から履修する科目のため、教科書に記載の内容を習得することに加え、この科目を学ぶ重要性を理解させることもまた必須である。そこで、国家試験に直接関わる内容であるという意識喚起を目的として、国家試験において出題頻度が高い用語や知識についてはその旨を強調するようにしている。時には過去問を示して解説を行うことで、講義で学習する内容が実際に国家試験で出題されているということを理解させるようにしている。</p> |
| <p><b>授業科目名【 公衆栄養学実習 担当】</b></p> <p>3 年生配当科目「公衆栄養学」を担当。提示した仮想地域に対するアセスメント結果から問題点を見つけだし、課題を改善するための模擬授業を実施した。対象者の健康・食生活に関する情報収集、優先課題の特定、目標設定、学習計画の立案、実施、評価およびそのフィードバックまでの PDCA サイクルの作業を体験的に学び、活用できるスキルを習得することを目標に、集団を対象とした公衆栄養学の実践を指導している。</p>   |

|  |
|--|
| <p>授業科目名【専門科目「臨床栄養活動論」担当（分担）】</p> <p>「臨床栄養活動論」を分担。傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理を行うために、これまでに修得した栄養教育の知識や技術を基礎として、栄養ケア計画の作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解し、具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育について修得することを目標とする。実務家教員として、病院管理栄養士を招聘し、第一線の臨床の場での管理栄養士の活動ならびにチーム医療での管理栄養士の役割をより深く理解する。また、将来、医療の場で活躍する場合に必要な知識を広く深く学ぶとともに、医療人としての心構えを培う。</p> |
| <p>授業科目名【専門科目「臨地実習Ⅱ」担当（分担）】</p> <p>臨地実習Ⅱでは、病院へ実習に行く学生の指導を行っている。実習期間中に実施される実習課題や研究授業内容を事前に何度も確認し、より円滑に実施できるように指導している。臨地実習の巡回時には、実習中の学生への助言及び学生の研究授業の講評を行っている。実習報告会では、各施設での実習内容について講評を行い、教員としての立場から実習の効果が最大限に得られるよう努めている。</p>  |
| <p>授業科目名【学部共通科目「高齢者支援学Ⅰ・Ⅱ」担当（分担）】</p> <p>西南女学院大学、九州歯科大学、西日本工業大学の3大学による合同授業及びチュートリアルを行っている。福祉分野、保健医療分野、工学・技術分野分野の実務家教員が自らの実践経験を踏まえて解説・実技指導を行っている。栄養分野では、高齢者の低栄養・過栄養と高齢者に特有な病態との関連、必要なエネルギー及び栄養素とその食事バランス及び栄養状態の評価・判定について指導している。</p>   |

| 学 会 に お け る 活 動  |                             |  |
|--|-----------------------------|--|
| 所属学会等の名称   | 役職名等（任期）                    | 加入時期   |
| 日本栄養士会会員<br>日本栄養改善学会会員<br>日本疫学会会員<br>日本衛生学会会員<br>日本学校保健学会会員<br>日本予防医学会会員 | 第 16 回日本予防医学会学術総会企画<br>運営委員 | 2003年4月～現在に至る<br>2003年4月～現在に至る<br>2005年4月～現在に至る<br>2009年4月～現在に至る<br>2013年4月～現在に至る<br>2017年6月～現在に至る |

| 2 0 1 8 年 度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項 |             |               |                         |     |
|-----------------------------------|-------------|---------------|-------------------------|-----|
| 著書、学術論文等の名称                       | 単著・<br>共著の別 | 発行又は<br>発表の年月 | 発行所、発表雑誌等<br>又は発表学会等の名称 | 概 要 |
| (著書)                              |             |               |                         |     |
| (学術論文)                            |             |               |                         |     |
| (翻訳)                              |             |               |                         |     |
| (学会発表)                            |             |               |                         |     |

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

| 研究題目 | 交付団体 | 研究者<br>○代表者（）内は学外者 | 交付決定額<br>(単位：円) |
|------|------|--------------------|-----------------|
|      |      |                    |                 |

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

| 研究題目 | 交付団体 | 交付決定額<br>(単位：円) | 備考 |
|------|------|-----------------|----|
|      |      |                 |    |

社会における活動等

| 団体・委員会等の名称<br>(内容) | 役職名等 | 任期<br>間等 |
|--------------------|------|----------|
|                    |      |          |

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

地域貢献活動として「SAT システムを使った食事診断会」を実施した。北九州市小倉北区の商店街の中にある“まなびと ESD ステーション”で地域住民に対する食事診断を行った。